

アニマルランド NEWS

わんぱくこうちアニマルランド
№97 Apr 2020

- 
- A photograph of two porcupines in an enclosure. The porcupine on the left is dark brown with long, dark quills. The porcupine on the right is black with long, white-tipped quills. They are both looking down at the ground. In the background, there is a black metal fence and some trees.
- ・ 動物園がなくなる！？
熊本地震から感じた動物園と社会のつながり
 - ・ 期間展示「知ってる?!わんぱく一の野鳥」
 - ・ 動物のお医者さん №30
～ケガをしたニホンカモシカの放野までの道のり～
 - ・ 飼育員として奮闘の1年

10/6、11/10、12/22、1/2,3、2/23 裏側探検隊 開催
 10/17 津波避難棚のためのクラウドファンディング 開始
 10/27 動物愛護のつどい 開催
 10/24、1/14、3/27 シロビタイムジオウム 搬出
 それぞれ別の園へ1羽ずつ 合計3羽
 11/20 スマトラトラのカリ 搬入
 12/1 第19回 いきもの講座 開催
 12/5 ヤイロチョウのピッタ 死亡
 12/12～1/19 えと展 実はすごい！ネズミ展 開催
 12/16 クラウドファンディング 終了
 12/22 干支のひきつぎ式 桂浜水族館で開催
 クリスマスマつり 開催
 1/6 タテガミヤマアラシ 1頭 誕生
 1/31 合同避難訓練 開催
 2/6～ 動物紹介 開始
 2/29～ 新型コロナウイルス感染予防のため
 アニマルギャラリー閉鎖、モルモットふれあい、ワンポイントガイドなどイベント中止
 3/29～ 新型コロナウイルス感染予防のため
 全園閉園

10月から3月



シロビタイムジオウム

繁殖計画のため、わんぱくの一羽が市原ぞうの国、江戸川自然動物園、日本平動物園に移動しました。



干支のひきつぎ式

干支のひきつぎ式を桂浜水族館でおこないました。ネズミ代表はわんぱくの一羽のモルモット。イノシシ代表は桂浜水族館のイラです。イラには感謝状、モルモットには委嘱状が送られました。



スマトラトラのカリ

繁殖計画のためよこはまズーラシアよりスマトラトラのカリが来園しました。



動物愛護のつどい

スタンプラリーにたくさんの方が参加されました。

のできごと



モルモットの赤ちゃん

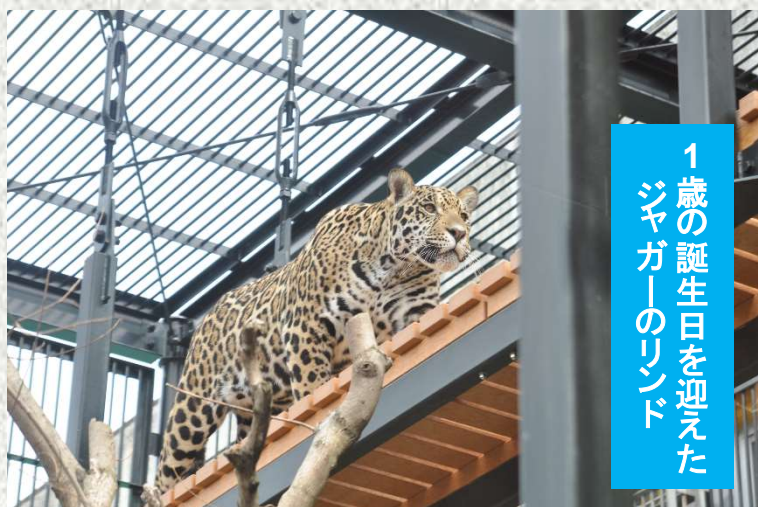
1月からモルモットの赤ちゃんが
ぞくぞくと誕生しています。

12月5日にヤイロチョウのピタ
が死亡しました。11年5カ月の
飼育記録は世界一となりました。



ありし日のヤイロチョウ

クラウドファンディングによる津波避難棚が完成しました



1歳の誕生日を迎えた
ジャガーのリンク



ライオン



ニッポンシキワグマ

南海トラフ地震から動物たちをまもらようと、津波避難棚を計画し、その費用にあてるためクラウドファンディングをおこないました。設置費用400万円のうち100万円を募ったところ、232人の方から3,274,722円の募金が集まりました。

津波から逃げるためだけでなく、普段から動物たちが活発に動けるようにデザインした避難棚です。3月に完成し、さっそく新しい動きがみられています。募金してくださった、みなさまありがとうございました。

第19回アニマルランドいきもの講座

動物園がなくなる！？熊本地震から 感じた動物園と社会のつながり

アニマルランドでは毎年、自然や動物について市民の方々に広く学んでいただくことを目的に「いきもの講座」を開催しています。2019年は19回目の開催で、熊本市動植物園の副園長である松本充史さんをお招きしました。「動物園がなくなる！？熊本地震から感じた動物園と社会のつながり」と題して、熊本地震からの動物園の復興のお話をしていただきました。

2016年4月に発生した熊本地震は震度7を記録し、熊本県および周辺地域に大きな被害を与えました。熊本市動植物園でも、液状化現象による地盤の隆起と沈下が園内全域において発生するなどし、臨時休園を余儀なくされました。今回の講演では、地震発生時のリアルな感想や職員の対応など当事者にしか分からないお話をしていただきました。その中では、水道管の破裂などで断水が起これ、水の確保ができなくなった時に自分たちで水道管をなおしたり、動物園近くのわき水を毎夜バケツではこんだりと、復旧までの地道な活動が印象的でした。また、「動物園からのライオン脱走」というSNSから発生したデマから始まった多数の問い合わせへの対応など、現代の身近になった情報ツールにふり回される苦労が感じられました。2017年の一部開園から2018年の完全開園までのお話では、休園中に職員がおこなっていた出前授業などをおして、同じく被災した地域の方々に寄りそい、共に歩んでいこうという意気込みが感じられました。

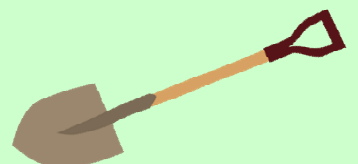
現在、世界中に広がっている新型コロナウイルスの影響で、全国の動物園も休園やイベントの中止などの対応をおこなっています。当園もそういうときでも動物園にできることを探しながら来園者の方々にあたたかい想いを少しでも感じてもらえるようつとめていくつもりです。

高知県は近い将来起こると言われている南海トラフ巨大地震での被害が予想されるため、熊本地震の話は他人事ではなく、自分たちに置きかえて考えていかなければならない問題です。現在、災害時のマニュアル作成や来園者や職員の避難誘導訓練、水やエサなどの人・動物用の備蓄、津波発生時の猛獣用の避難棚の設置などの対策をおこなっています。当園は小さい動物園ですが、いつ災害が来ても対処できるように準備し、また今まで以上に地域に愛される動物園として頑張っていこうと思います。

(大地博史)



- ① 松本充史さん
- ② 隆起した園路
- ③ 倒れた建物
- ④ 液状化しずんだ園路





期間展示

「知ってる?!わんぱーくの野鳥」

アニマルギャラリー特別展示場において、「夏の企画展」開始までの間の「期間展示」担当となりました渡部です。今回は、動物園を訪れた時のさらなる楽しみの一つとなるように、わんぱーくで確認できる野鳥を写真で紹介することにしました。えと展の終わる前から準備を進めていたので2019年12月から確認した野鳥を対象としました。

「わんぱーくこうち」や「高知県立高知南中学校・高等学校」ができる前、この場所には「高知競馬場」がありました。その競馬場の馬場の内側は楕円形の大きな池になっていて、カモなどの水鳥が多く生息していました。その池の環境を残す形で「わんぱーくこうち」の真ん中には池があるのです。池の大きさが小さくなったせいで、カモの飛来は少なくなりましたが樹木がしげり公園の環境が落ちついてきてからは、四季折々の野鳥を観察できるようになりました。今回の「知ってる?!わんぱーくの野鳥」では、2019年12月から2020年7月までの間に観察した野鳥を写真で紹介していきます。一年中いる鳥（スズメ・キジバト・コサギ他）や、冬鳥（ツグミ・ジョウビタキ・オオバン他）そして夏鳥（ツバメ他）など季節の変化を知っていただけたらと思います、鳥の名前の横に観察できた月（12月から7月）の色別シールを貼っていきますので参考にしてください。なお、担当者が確実に確認した種類だけを提示していますので見逃している種類があるかもしれませんが、新たに確認した野鳥を順次紹介していきますので楽しみにしてください。

バードウィークという言葉を知ったことがありますか？ バードウィークは、1894年にアメリカ合衆国で森林の保護者となっている小鳥を守ろうとバードデーを考えたのが始まりだといわれています。日本では1947年に鳥類についての正しい知識と愛護思想の普及を目的として4月10日がバードデーと定められました。そして、1950年に北国の気候を考慮して日にちを改め期間を1週間とし、5月10日から16日までをバードウィーク（愛鳥週間）とすることが定められました。この期間には全国でポスターの掲示や探鳥会など様々なイベントが開催されます。皆さんも是非「知ってる?!わんぱーくの野鳥」の期間展示をきっかけに、野鳥を探すことを通じて自然に親しんでいただけたら幸いです。（渡部 孝）



カイツブリ



カワセミ



期間展示全景



シジュウカラ



ジョウビタキ

動物のお医者さん

№30

～ケガをしたニホンカモシカの放野までの道のり～



2019年6月20日、弱って動けない野生のニホンカモシカが園内の動物病院に運びこまれました。やってきたそのカモシカは、トラックの荷台でぐったり横たわっており、長い時間日光にさらされていたため熱中症にもなっていました。すぐに体を冷やす治療と検査を行いました。さいわいなことに骨折はありませんでした。1時間後には立つことができ、ひとまず飼育舎のほうで様子を見ることとなりました。落ち着いてみると、やせた若いオスで、つのも折っていました。それから2カ月ほどは飼育舎でのくらしにもなれ、エサもよく食べてくれました。しかし、はじめに気になっていた右前あしのはれがどんどんひどくなり、歩きづらさも見られたため、病院でふたたび検査をすることとなりました。麻酔をかけて右前あしをさわると熱をもち、レントゲンでは右前あしと左かたの骨に異常がありました。右前あしのひづめはとけてうらから骨が見えており、感染のうたがいのため、薬を与えることとなりました。カモシカはもともと、人にさわられることに強いストレスを感じ、それだけでエサを食べなくなったり、糞がやわらかくなることがあります。しかし、まだおとなになる前だったこともあり、飼育員と獣医師が毎日さわって薬の注射と傷を洗うことに、たえてくれました。それどころか飼育員がエサを入れるのを待ちきれず、早く持ってこい！とねだるほど元気でした。注射はおよそ2カ月にもわたりましたが、みるみるはれがひいて歩き方もよくなりました。野生動物の回復力はすごいもので、とけていた骨やひづめも再生しました。原因はおそらく山の中でケガをして、あしの小さな傷から細菌が入り、骨をとかすまでのはげしい炎症をおこしていたのでしょう。はじめに19kgだった体重も25kgまで増え、体つきもがっしりとしてきました。

2019年12月6日、いよいよ山に放す日がやってきました。野生で生きていくために、人をきらいになる訓練も行っていました。箱に入れて車で運び、少しでもカモシカのエサとなる自然がのこっている場所に着きました。箱のとびらをあけると…カモシカはおそろおそろ一步をふみ出し、何かにみちびかれるようにすたすたと歩きだしました。私たちのことをときどきふり返りながら、山のおくに消えていきます。そのとき山の斜面も問題なく歩いており、あしがちゃんと治っていたことに一同安心しました。しかしこのカモシカがこれからひとりで生きていけるかは、誰にもわかりません。

今、高知の山はシカが増えエサが減り、カモシカには住みづらくなっています。近年、やせたりケガをした野生カモシカの保護が多く、山でのきびしい状況に私たちは心をいためています。四国産のカモシカは数が少なく、本州産のものとはちがうため、私たち四国に住む人間が守っていかねばならない野生動物の一種です。
(井上春奈)



- ① こちらを振り返りながら山に消える
- ② 久しぶりの山へ
- ③ 肢の治療をしているようす



飼育員として奮闘の1年

2019年4月から、わんぱくこうちアニマルランドの飼育員として働いています。それまでは、環境業務課という別の部署でパッカー車の運転や、家庭ごみの収集作業などをしていました。現在担当している動物は、ニホンカモシカ、カンムリシロムク、オニオオハシ、アカショウビン、そして今年の1月に赤ちゃんが生まれテレビなどでとりあげられた、タテガミヤマアラシです。

飼育員になるまで、図鑑が好きでよくみていました。なので、動物というのは図鑑にのっている通りだと思っていました。しかし、実際の動物は図鑑にのっていることとすべて同じではなく、むしろ違うことのほうが多いのではないかなと思うことさえありました。飼育員になってからは本当にわからないことだらけで、なんでそうなのか？と思わないことがない毎日でした。

例えばヤマアラシについてです。ヤマアラシは大きめに切ったエサを用意しなくてははいけません。まずそれを聞いてなんで？と思いました。実はその理由は、ヤマアラシは食べる^{きょうりゅう}ときエサを前あしで押さえてかじるからです。エサを小さく切り普段と違う食べ方を強要してしまうと、前あしでおさえられずストレスがかかってしまうからでした。

このこと以外でも、天気が悪いと獣舎から出たがらない、この食べ物がすごく好きなど図鑑にのっていないようなことばかりで、毎日「どうして？」が山のように降ってわいてくる毎日でした。そして、あっという間に年があけて2020年になりました。このところ、タテガミヤマアラシのメスのミーナの^き機嫌がわるく、展示場に大きな穴を掘ったりするのでストレスがたまっているのかな？かじるための丸太をいれようかなと思って用意をした次の日のことです。なんと赤ちゃんが生まれていました。ミーナの前回の出産時も、同じように展示場に大きい穴を掘っているのを見た先輩飼育員が教えてくれました。^{じんつう}陣痛に関係あるのではないかなということでした。自分はストレスが原因だと思っていたのですが、まったくの見当違いだということがわかりました。わかってきたと思ったのですが、まだまだこれからも勉強が必要だと感じました。

また、子どものジュンが生まれてミーナが全く違う生き物になったように感じました。それまでは人の姿をみてもあまり怒らなかったのに、ジュンを出産してから人の姿をみるとブブブブッという音を出し、針を立てて刺そうとしてくるのです。あまりの違いに本当に驚きました。それからヤマアラシの赤ちゃんのための準備や、どういうことに気を付けなければいけないかなど学びました。ジュンはけがも病気もなくすくすくと順調に育ってくれています。今後も健康に育っていつてもらうために、勉強を続けていきたいと思います。

(永友賢明)



- ① 生後約1カ月 針もしっかりと立つ
- ② 生後4日目 母のミーナと
- ③ 生後4日目のジュンと





リクガメ舎の前でカメをご覧のご家族をキャッチ☆
左から

齋藤 隆一郎さん
丈一くん(1さい)
恭子さん

雨の中のご来園でした。
丈一くんは、シマウマや金魚にも興味津々。
これなあに？と質問を連発していました。

4月から9月のイベントとお知らせ

4月5日(日)

予定していたわんぱくこうちまつりは、新型コロナウイルス予防のため中止となりました。

4月29日(水・祝) 9:00より受付開始

第23回 カブトムシ飼育教室 開催
先着150名様 対象12歳以下 参加費無料
9:10・9:40・10:10の3回に分けておこないます

7月12日(日)

カブトムシすもう大会

7月30日(木)、31日(金)

サマースクール 開催

7月16日(木)～9月1日(火)

夏の企画展 開催

9月21日(月・祝)

敬老の日イベント 開催

4月12日(日)、6月7日(日)、7月5日(日)

8月9日(日)、9月20日(日) 14:30～

5月3,4,5,6,(祝・日) 13:30～

裏側探検隊 各日先着20名

参加者全員にアニマルランドカードプレゼント♪

日・祝 14:30～

(裏側探検隊がある日曜日は前日の土曜日に変更)
ワンポイントガイド

動物の開設を飼育スタッフがおこないます

4月1日(水) 臨時開園

4月30日(木) 臨時休園

5月7日(木) 臨時休園

8月12日(水) 臨時開園

※ 中止や延期がある場合があります。

ホームページ、Facebook、電話等でご確認ください。

ふれあい広場開放時間 変更のお知らせ

4月1日から

・10:00～12:00

・13:00～15:00

の開放となります。

※ 7, 8, 9月は動物が暑さで弱ってしまうため
お休みしています。

表紙「タテガミヤマアラシの親子」

2020年4月1日発行

発行・わんぱくこうちアニマルランド

〒781-8010 高知市棧橋通6-9-1

TEL088-832-0189 FAX088-834-0929

Eメール ko-171204@city.kochi.lg.jp

編集 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>
アニマルランドニュース 4, 10月の年2回発行
ホームページでも配信中

わんぱくこうちアニマルランド

検索